

## 2013年度 栃木県へ避難している方への アンケート集計結果報告

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター  
福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト(FSP)  
阪本公美子(国際学部准教授)  
匂坂宏枝(FSPコーディネーター)

お願い: 印刷物やHPへの無断の転載は御遠慮下さい。また引用される場合には、以下のように出典を明記してください。転載の許可を含めて、その他ご不明な点は、最後のページにありますセンターの連絡先宛にお問い合わせください。

出典: 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター(CMPS)福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト「栃木県へ避難している方へのアンケート」(2013年8月実施)より

### <アンケート実施期間>

2013年8月5日(月)～2013年8月30日(金)

### <発送協力>

とちぎ暮らし応援会

### <回収>

1,017件発送 107件回収(回収率 10.5%)

### <実施者>

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター(CMPS)  
福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト(FSP)

## これまでのアンケート調査・対応(要望書)

<http://cmps.utsunomiya-u.ac.jp/fsp/proj4.html>

原発震災被災者の侵害されている権利・ニーズ

短期的: 市民団体・行政の支援

市民・国民  
の理解

長期的: 国・行政による支援、権利回復

### アンケート

#### ・福島県内

- ・福島県内未就学児アンケート調査(2011年9月実施)
- ・原発事故後の福島県内未就学児家族フォローアップ・アンケート調査(2012年6月実施)

#### ・栃木県内避難者

- ・子育てをしていらっしゃる方へのアンケート(栃木への避難者)(2012年8月実施)
- ・必要な支援に関するアンケート(栃木への避難者)(2012年8月実施)

#### ・北関東(茨城・栃木・群馬)への避難者の必要な支援に関するアンケート結果概要

- ・栃木県へ避難している方へのアンケート(2013年8月実施)

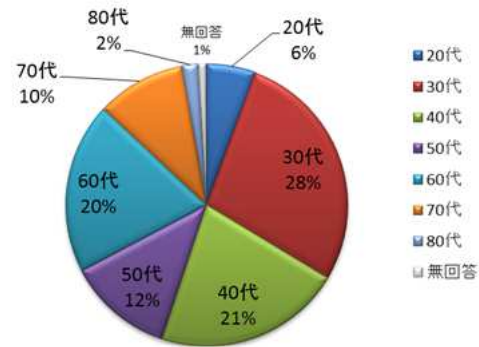
### 対応

- ・福島県内・栃木県内のニーズを支援につなぐ
  - ・福島県からの避難
  - ・避難者先(栃木県)での支援
- ・国の支援につなぐ
  - ・復興大臣宛「『原発事故子ども・被災者支援法』基本方針に関する要望書」(2013年3月4日作成・3月8日に提出)
  - ・復興庁・環境省宛「『原子力災害による被災者支援施策パッケージ』に関する再要望事項」(2013年4月3日作成・4月4日に提出)

## 避難者アンケート、自由記述より抜粋

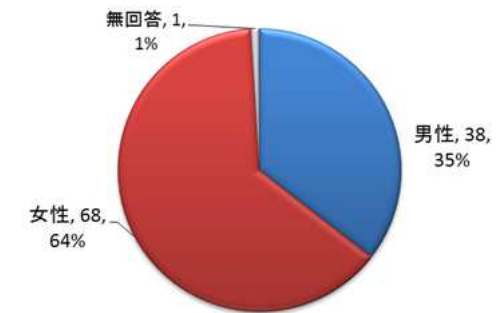
- ・私達への支援を有難うございます。あの日以来、人と話す事で恐怖心が高まり不眠や精神面で落ち込んでしまいます。(私達の苦しみの声が届かない)アンケートは全身(全心)で答えさせていただきます。(40歳代、女性)
- ・私の住んでいる所は、避難解除地域です。でも、放射線量は、今だに高いです。その不安!! 本当の事が、報道されない。日本国全体が忘れようとしている。(60歳代、男性)

## 基本情報: 1. 回答者の年代



5

## 2. 性別



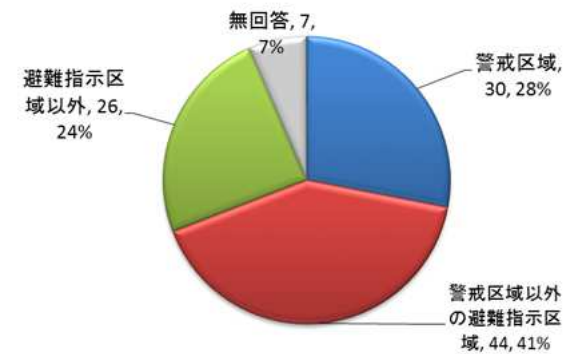
6

## 3. 出身自治体

	回答数	%
浪江町	23	21.5%
南相馬市	18	16.8%
富岡町	11	10.3%
郡山市	10	9.3%
福島市	8	7.5%
いわき市	7	6.5%
大熊町	7	6.5%
双葉町	6	5.6%
他	17	15.9%
計	107	100%

7

## 4. 避難指示別

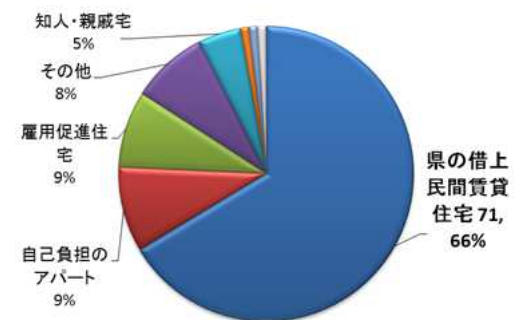


8

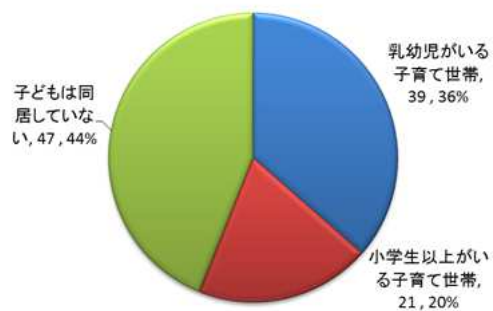
### 5. 居住自治体

	回答数	%
宇都宮市	27	25.2%
佐野市	8	7.5%
那須塩原市	7	6.5%
鹿沼市	6	5.6%
下野市	5	4.7%
真岡市	5	4.7%
大田原市	4	3.7%
那須町	4	3.7%
他	41	38.3%
計	107	100%

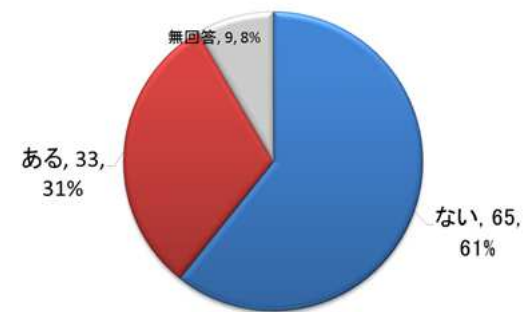
### 6. 現在の住まい



### 7. 家族構成



ご家族について: 1. 現在住んでいる地域・自治会の人と交流がありますか。

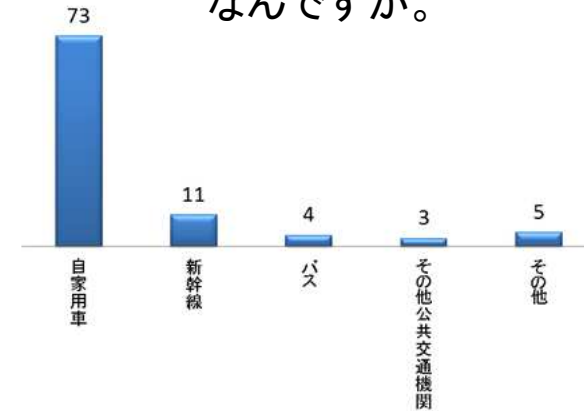


## 2. どのくらいの頻度で避難元と避難先を 行き来していますか。



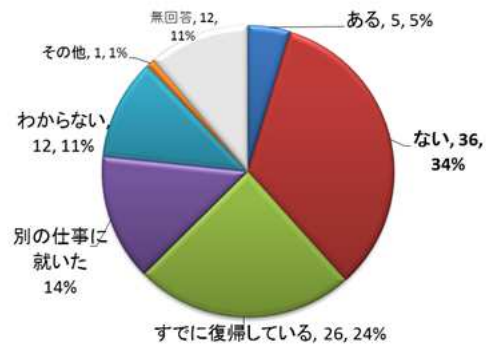
13

## 3. ご家族との行き来のための交通手段は なんですか。



14

## 4. 家計を支えていた人の仕事復帰の見通し



15

## 自由記述より: 仕事について

- 内職などの話しもあり、少し収入をえる事が出来ました。相手社が内容に続けられるものではなかったのが残念でした。(50代女性)
- 私共夫婦は仕事もあり年金もありの生活でしたが息子は仕事も会社も地元の為、**仕事も失いなかなか見つからず困ってます**。大学出てから20年同じ会社で働いてたのでなかなか決心もつかずいろいろと大変な毎日です。(70代女性)

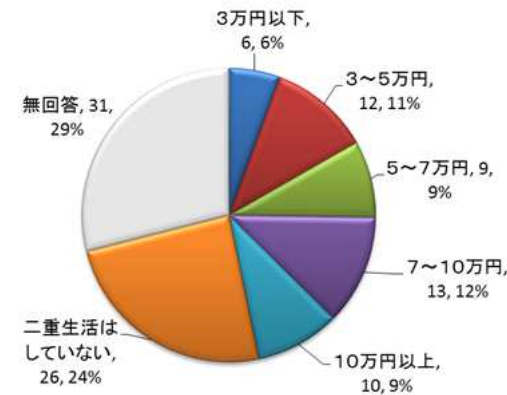
16

### 5. 世帯全体の経済状況は厳しくなりましたか



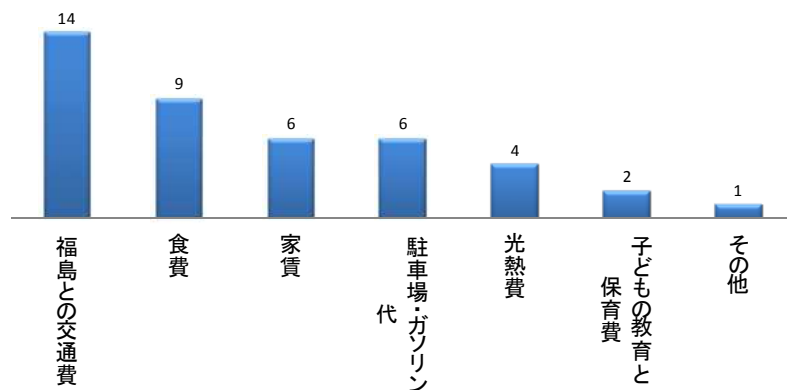
17

### 6. 二重生活による経済的負担額(月あたり)



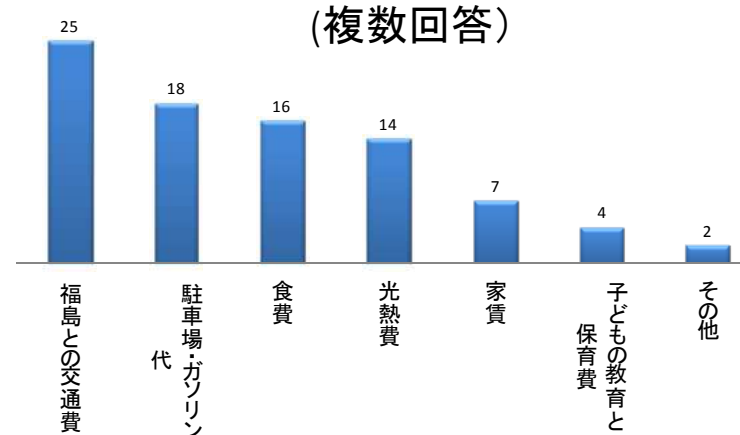
18

### 7. 二重生活での支出がもっとも多いもの



19

### 7-1. 二重生活での支出が多いもの(複数回答)



20

## 自由記述より: 自主避難者の状況

- 特に、自主避難者に対する支援をお願いしたいです。**二重生活の為、光熱**

**費が単純に2倍です。**子供の教育費も、新潟県村上市に自主避難した友達は幼稚園の学費が全額無料で、制服まで支援していただいたそうです。栃木県内でも、水道代を補助してくれる市町村があると聞きました。それから、借り上げ住宅の長期化を望みます。このままだと、帰りたくないのに、戻らなければならないります。宇都宮市以外でどのような補助や支援があるのか詳しく知りたいです。もちろん、宇都宮市の情報もお願いします。(40代男性)

21

## 8. 震災後のあなたの健康

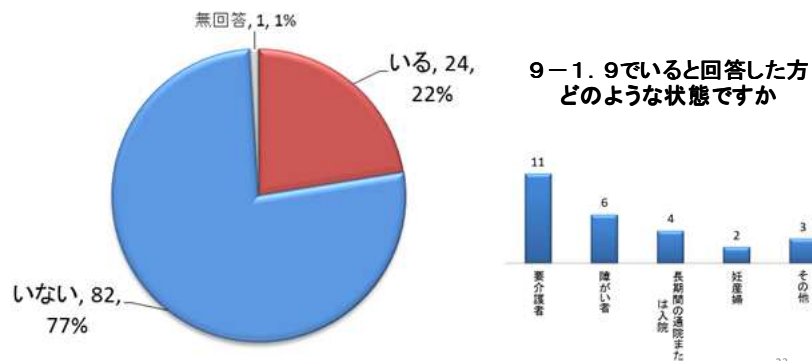


具体的に:

- 疲れやすくなった(30代男性・女性)
- 精神面(50代男性、30代・50代女性)
- 生活習慣病(30・40代女性、20代・50代男性)
- 目(20代男性、60代・70代女性)
- 血圧(50代・60代女性)
- 乳がん(40代女性)
- 心不全(40代男性)
- 脳梗塞(60代女性)
- 息子がリハビリができなくなり、体がかたくなった(40代女性)

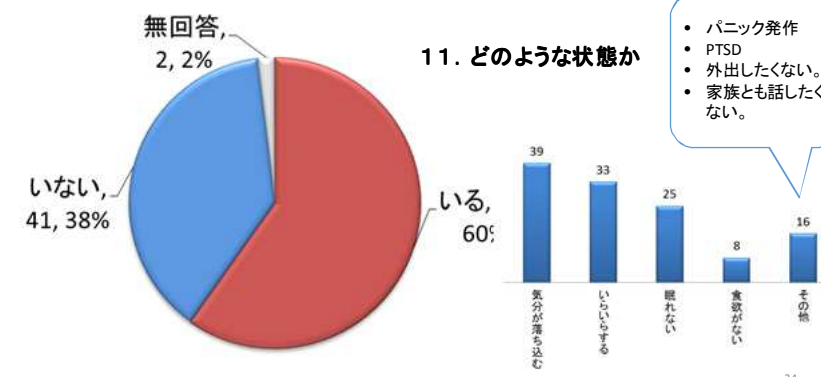
22

## 9. 身体上支援の必要な家族



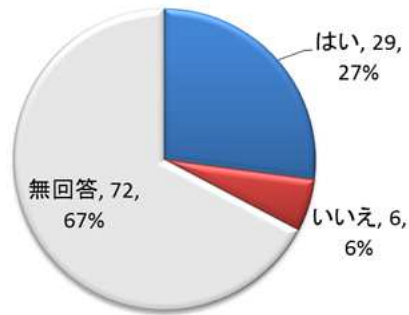
23

## 10. こころの健康に不安のある家族



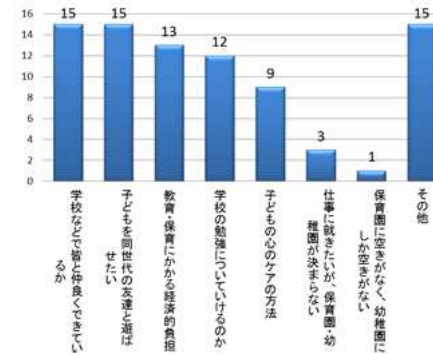
24

## 12. 子育て中ですか



25

## 12-1. 子育てで困っていること 不安に思っていること



- ひんぱんに休日に郡山に戻っていますが、既に子どもは郡山の友達とは連絡を取り合っていないので、**長期の休みに遊び相手がまったくいないのが悩み**です。(40代女性)
- **いずれは別れなければいけない友達...とのつながり方** (50代女性)

26

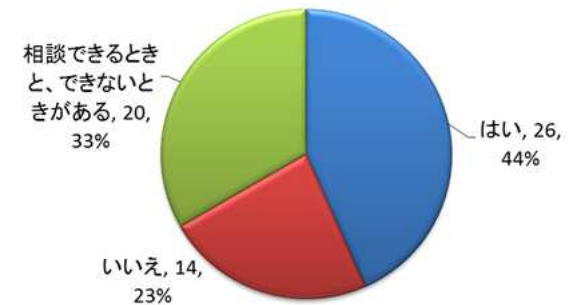
## 自由記述より: 先が見えない生活

- 子供が中、高、大学生という、一番むずかしい年代になり住居環境、精神的不安など表面に出にくい問題が山積しています。夫も単身赴任先で苦勞しているので、なかなか相談しても良い解決法が見つからず毎日不安でいっぱいです。先が見えない生活がこんなにつらいとは、思いませんでした。

(40代女性)

27

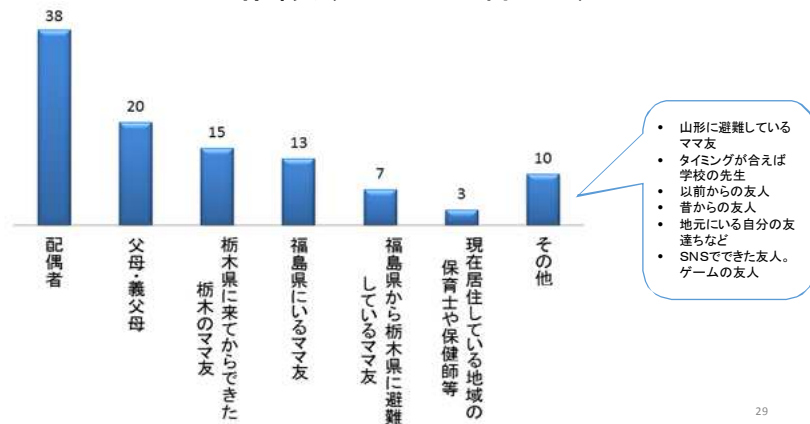
## 13. 相談相手がありますか



28



### 14. 相談する人は誰ですか



29

### 15. お子さんの通学状況



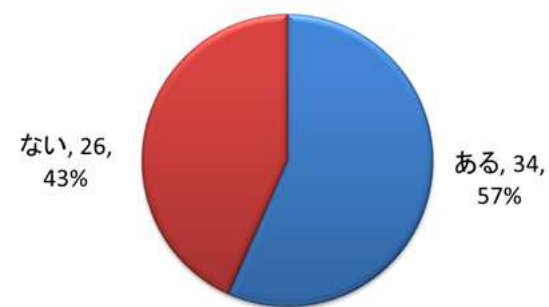
30

### 16. 保育園または幼稚園への入園状況



31

### 17. 子育てのリフレッシュや息抜きをできる場所



32



### 18. 子どもを遊ばせる場所



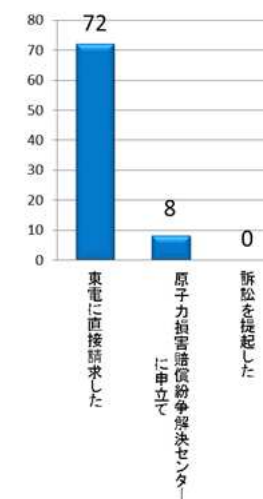
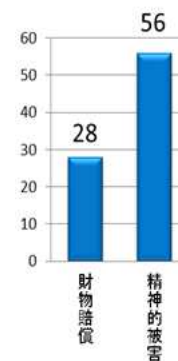
### 自由記述より: 母親の悩み

- 自主避難の方は、保育園へ受けつけられないと伺いました。経済的にも負担があり大変なので働きたい母親の為に、保育園への受け付けは認めるべきだと考えます。子どもは、避難先の学校や地域になじめますが、私はなかなかなじめません。避難後に子ども授かり、「避難してきた人が結こう子ども産んでいるんだよね」とひんなんな事を言われたり、こんな状況なので、ちょっとした言葉でも傷つきやすくなっています。(30代女性)

33

34

### 原子力損害賠償について: 19. 東電へ賠償請求しましたか



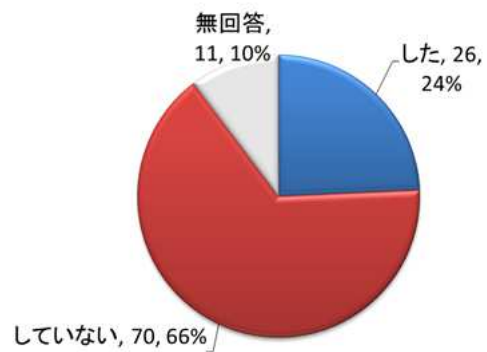
### 19-1. 請求方法

### 19. 請求内容

35

36

### 20. 損害賠償について専門家に相談・説明会に参加しましたか



37

### 21. 損害賠償請求方法の理解度



38

### 22-1. 財物への賠償金額の満足度



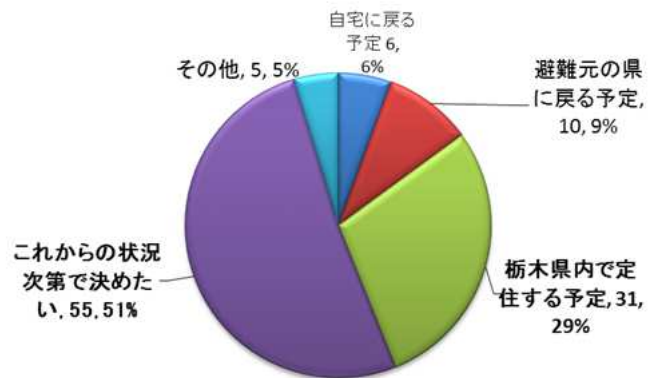
39

### 22-2. 精神的被害への賠償金額の満足度



40

### 今後について: 23. 今後の予定について



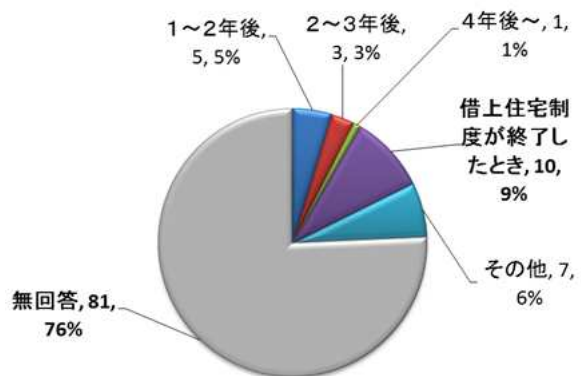
### 自由記述より: 今後について

- 戻りたいけど戻ることはできません。(40代女性)
- 避難者達の心を思うと一こくも早く復興して故郷(ふるさと)に戻りたい気持で一ぱいです。よろしくお願いします。(60代女性)
- 戻りたい戻りたくないで意見が分かれ原発離婚になりそうで怖い...これからどう生きていったらいいの不安・悩みを共有できるような人がいたら心強いのですが...(60代女性)

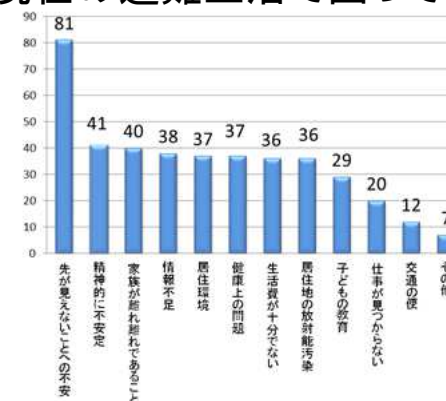
41

42

### 24. 自宅・避難元に戻る時期



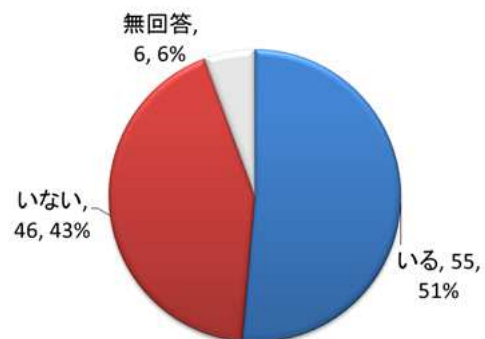
### 不安や相談場所等について: 25. 現在の避難生活で困っていること



43

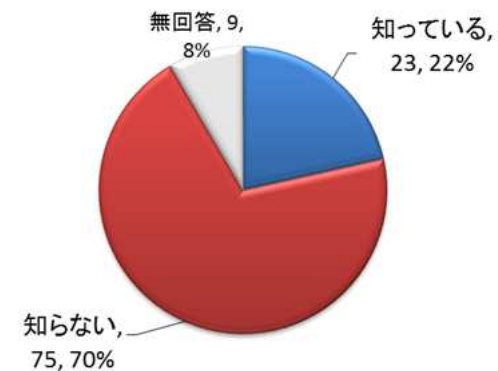
44

### 26. 悩みを相談できる人はいますか



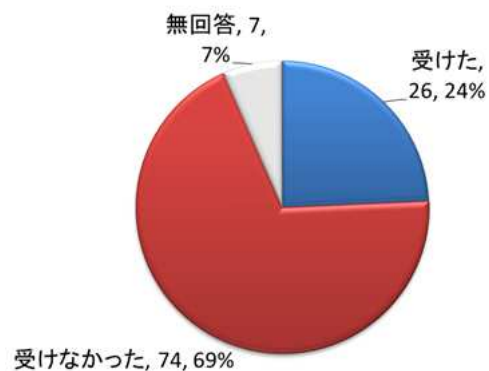
45

### 27. 専門的な悩みについて相談できる場所や人を知っていますか



46

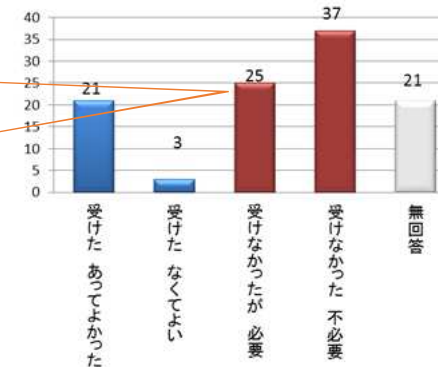
### 28-1. 戸別支援を受けましたか



47

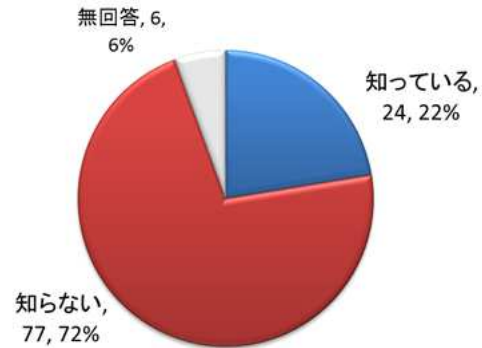
### 28-2. 戸別支援について

「受けなかったが 必要」と回答し連絡先のある避難者については、とちぎ暮らし応援会、日本カウンセリング学会栃木県支部に個別訪問支援を依頼



48

## 29. 「原発事故子ども・被災者支援法」を知っていますか



49

## 自由記述より

- 住居・支援・避難先の汚染状況・避難先住民・学校・幼稚園の放射能汚染への意識、どれにも複雑な思い、葛藤があります。(30代女性)

50

## 必要性・要望の高い支援: 交通



51

## 自由記述より: 高速道路について

- 妻が病院通いがあるため時々自宅にもどる。そのため**高速道の無料化は大変ありがたいと思います。**(70代男性)
- 高速道路の無料化にはとても助かっております。高速道路だけではなく**新幹線等で避難元と避難先の子の行き来の無料化**があっても良いのではないのでしょうか。私自身高速道路の運転が苦手な為、避難元に帰る際の交通費(新幹線)は痛手です。そういう点の交通費助成をお願いできたらと思っています。(40代女性)
- 高速無料化、**福島県外以外**も利用したい。(両親が東京へ避難している為お金がかかる)(30代男性)

52

必要性・要望の高い支援: 健康1



\* 乳幼児子育て中は36% + 小学生～18才までを子育て中は20% = 56%

53

必要性・要望の高い支援: 健康2



54

自由記述より: 健康・検査関連

- 子供達の甲状腺検査の結果など本当の情報が分からない事が多い。(30代女性)
- 南相馬市役所の対応が悪く、ガン検診や子供の予防接種など何も情報ももらえず、大変不便な思いをしている。将来も、どうしているのか、わからない。もう、国や南相馬市は県外へ避難している人達は、みすてていると思っている。南相馬市は最低なとこだ。(30代女性)
- 福島県内と県外の差を無くしてほしい。町の検査などが平日のみで受診できません。もう3年目に入ります。小学一年の子が三年になりました。小学校の半分です。今さら戻れますか？なので16年勤めた会社を辞めました。(30代男性)

55

必要性・要望の高い支援: 避難先自治体



56

## 自由記述より抜粋: 宇都宮市での支援・状況

- ...子供の教育費も、新潟県村上市に自主避難した友達は幼稚園の学費が全額無料で、制服まで支援していただいたそうです。栃木県内でも、水道代を補助してくれる市町村があると聞きました。  
...宇都宮市以外でどのような補助や支援があるのか詳しく知りたいです。もちろん、**宇都宮市の情報**もお願いします。(40代男性)
- 様々な会(お茶会など)に参加してみたいと思うが、仕事があるといそがしく時間がとれない。**宇都宮の市政**だより等**地域の情報**がもっと知りたい。(30代女性)
- **宇都宮市に住民票を移しましたが**、仕事等に必要と思った為の措置でしたが、**宇都宮市は住民税が高い**ことを知り、不幸さを感じました。**免税の対象**になれば良いと思いましたし、**移動前の市の税額に合わせる**等して欲しかったです。(30代女性)

57

## 自由記述より: 栃木県内避難先での支援など

- **避難先での福祉関係の支援体制のハードルが高く利用できない**等がある。(市町村によって違うと思いますが)(対応・支援がスピーディーという市町村もあれば、できないと断られる市町村もあると聞いている。)支援体制が平等でない。(60代男性)
- 家に(地元)に戻りたくても戻れず、全く知らないところでの土地探し、そして家を建てる計画をしています。ですが全くといっていいほど**支援や補助等有りません**。本当は**絶対に誰でも地元に戻りたいはず**です。まわりに**店が無く、お金も無くて**も幸せと感じていたあの土地に。そこを強く言いたいし、**何か支援等出来たらうれい**です。(20代男性)

58

## 必要性・要望の高い支援: 損害賠償



59

## 自由記述より: 国・東電の賠償について

- 何故、栃木県内だけ東電説明会が開催されないのか、不思議に感じている。(30代男性)
- 県外に避難しており、その避難先ではあたたかく(何事もなく、変わらず)向かえて頂いております。定住も考えたいのですが**避難元のローンも有り、賠償をもっとしていただかないと、二重ローンになります**。最低でも**前の生活レベルに戻りたい**です。(30代男性)
- これから先、前進して行こうと思っても、それを阻む物があり不安定な状態です。**まず東電の対応、公平かつ迅速ではないという事、福島原発の事故処理問題、無責任過ぎます**。国に対しても同じ避難している人達の人権無視など。アンケート書くだけでも血圧が上がって体調が悪くなります。(50代女性)
- 2年5ヶ月が過ぎても何一つ心が満たされる事は有りません。**東電・国のあいまいな態度・避難者の気持ちでとか言葉は聞けけれど、住まい1番必要とする人間として、国民としてのあつかいはされていない気がする**。日々です。東電の賠償は大切な(家・土地)の件はもう少し国が先に立ち、進めるべきで有ると思う。(賠償の金額次に進めない事してほしい。**(小さくても、家族と一緒に生活する幸を下さい。)**(何がアベノミクスだか福島を3・11を忘れたのか、政治家達にしか見えない。)(70代女性)

60



## 自由記述より: 国・東電に対して

- 東電に対するいかりしかない お金で解決できないものはどうするつもりか?? (30代女性)
- 除染後、安全確認 室内清掃後帰宅予定。家族内でも安全感の度合異なること。放射能検査測定 安全基準値 一部ヨウ素、セシウムだけであり、他の成分はどうなっているの?何も言わないけど安全?安全基準値に他の要素 食物、地表面完全ではないのに宇宙線検査等含まれると、オーバーしてしまうのに。福島県内、外で情報、扱われかた、支援、ちがっていたこと。帰宅準備でハウスクリーニング期限つきであった。3月末日までだった(当方は)範囲についても前もって指示されたのと異なる。査定であった。これは東電の後出しジャンケンのように不正ではないか。今までも、今後も事業の点においても全面的に何か不正をしてきて、これからも行なっていくのでは不信だらけです。(60代女性)
- TVや新聞などで東電のニュースが目に入ると、気持ちがイライラ、見たくないけど確かめたい気持ち、今だに続いています。そういう気持ちをはき出す所がない。(60代女性)

## 必要性・要望の高い支援: 自主避難



\* 自主避難者は、24%

62

## 自由記述より: 自主避難支援について

- 被災者支援といいながら、避難区域外はまったく無視されている今の現在にかなり不満。(50代男性)
- ○自主避難者にも、少し保証(支援金)があればと思います。  
○自主避難者はつらいです。自主避難の言葉さえ報道されないので理解されていない。
- ○半径何K、何Kで決めるのは不思議です。  
○その他除染の件、住まいの件等々知りたい事が沢山ありますが... 自主避難のため記入する事は出来ません。(70年代女性)
- 自主避難者への対応が悪いと思います。福島市は実は線量は高いのに、どうして、国は差を付けて、いろんな面で不利にするのか? 線量の高い所には、正直に公開して、差別なく国が対応するべきです。(女性)

63

## 必要性・要望の高い支援: 福祉



\* 該当者は22%

64

## 自由記述より

- 福島の家は車イスで生活している息子のためにバリアフリーの新築の家だった。学校にも車イスで通い、充実していた。栃木ではバリアフリーの家ではないので、家族の負担も大きい。障がいを持つ人間にとって環境が激変したことは大きく、東電は、何らかの対応をすべき。通院していた病院にも通えなくなってしまった。(40代女性)

## 必要性・要望の高い支援: 雇用



自由記述より

- 栃木県で「震災被災者対象求人」で入社しましたが、一時帰宅など行かしてもらえず、退職しました。何の為に被災者用だったのかわからない。(30代男性)
- 県外避難をしたが親族は福島県の為、帰省の際の距離感と金銭的負担があり、震災前のように気軽に帰省できなくなりました…。県外避難したものの、**定職(正社員)雇用の件数が少なく、生活面で不安が大きい。**(30代女性)

## 必要性・要望の高い支援: 住居

## (3) 仮設住宅(借上住宅)の延長・長期化



\* 借上住宅に住んでいるのは66%

## 自由記述より: 借上住宅の延長について

- ...それから、**借り上げ住宅の長期化を望みます。このままだと、帰りたくないのに、戻らなければならなくなります。**...(40代男性)
- 支援ありがとうございます。**このまま延長していただくと大変助かります。**(30代女性)
- 私は自主避難ですが、栃木県の借り上げ住宅に入居させていただき、大変感謝しております。...**借り上げ住宅の延長を...希望しております。**(50代女性)
- いつも、情報案内を送りいただき感謝しています。家族と離れ子供と二人だけで誰も知り合いもない、この土地で生活しています。子供の教育やこれから先の**借り上げの延長について何か情報等ありましたら、教えて下さい。**お願いします。(40代女性)
- 借り上げ制度も来年の6月までとなっています。**その先延長になるのか早目に知らせていただかないと今後の計画ができません。**高速の無料措置もそうですが、期限ギリギリになってから“延長”ではなく、十分前もって制度の延長、打ち切り等知らせて欲しいです。(40代女性)
- 借り上げ住宅は来年の6月で打ち切られるそうですが、先がみえなく、(子どもも小さい為福島に戻るつもりはない) 今後、どこで生活していいのか悩み中です。**毎日、毎日、難題をかかえながら、いいそれでも生きなければと頑張っているところです。お世話になりました。今後ともよろしく願い致します。(30代女性)

## 借上住宅延長について

平成25年4月2日

国: 厚生労働省より延長可能の通知

避難元県より栃木県を含む避難県に平成27年3月31日までの延長依頼

被災県内における延長

福島県内: 平成25年4月3日に、平成27年3月31日まで延長

宮城県内: 平成25年8月30日に、3年→4年に延長

避難県における延長(被災県より延長依頼に基づき)

山形(5月7日に)、秋田(5月20日に)、新潟(6月13日に)、東京(9月18日)、群馬は、福島県からの避難者の借上げを平成27年3月31日まで延長

宮城・岩手からは3年→4年に。

(以上、各厚生労働省・都道府県ホームページより)

栃木県では、福島県からの避難者は平成27年3月31日まで、宮城・岩手からの避難者は4年に延長は決定しており、今月中に借り上げ住宅在住の避難者へ意向調査を行うとともに、ホームページにて公開予定(栃木県担当者より)。

## 必要性・要望の高い支援: 住居

## (2) 仮設住宅(借上住宅)の転居を認める

■ 5 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 ■ 無回答  
 高い ← 必要性 → 低い



\* 借上住宅に住んでいるのは66%

69

## 自由記述より: 借上住宅の転居について

- 避難してきて時がたって、結婚して子どもできて部屋せまく休める場所がないです。もう一度、借上住宅をやって住みかえがしたいです。(20代女性)
- 借り上げ住宅の転居を一、二回は認めてほしい。(仕事、学校等や、借上げ場所の人間関係などという意見)情報が少ないので教えてもらえるとありがたいです。(20代女性)
- 福島市内は避難区域になっていないのに、いまだに線量が高く、除線も進んでいない状態です。子供の健康を思い、自主避難しましたが、知人も居なく不安な日を送っています。主人も宇都宮に来て仕事につき、除線が終わるまで福島には帰れないので、別の借上げ住宅への転居を強く希望します。(30代女性)
- 上記にもありますが、現在住んでいる借り上げから別の借り上げへの転居を認めてほしいです。(ここに住むことに決めた時は短期間でアパートをさがしたり、二重生活だったが、現在は家族7人で住んでいるためとても狭い!)いろいろな状況も変わっているため(40代女性)
- 借り上げ住宅を使用して延長は大変うれしいのですが当所は思うようなところがなくベットもいたことからだ協があった!最近はお母も89才になり足がよわり段差やおふるの古さで困っています。別の所へ移してはもらえないのでしょうか(50代女性)
- これ程長期化することは想定出来ず、まず、駅近(その時は車はなかったため)と考え現在1DKに入居している、しかし、これ先、2年、3年と長期に考えないといけなくなって来ているのが現状、住み変えを考えているが、栃木県生活部消防防災課では、それを認めず、やりきれなさを感じています。実際家賃は月1000円の上積だけであるのに、本当に情けないです。(60代女性)

70

## 必要性・要望の高い支援: 情報公開

## (12) 住居地域で収穫した食物の放射線量測定と情報提供

■ 5 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 ■ 無回答  
 高い ← 必要性 → 低い



## (8) 避難先地域での医療や福祉に関する情報提供

■ 5 ■ 4 ■ 3 ■ 2 ■ 1 ■ 無回答  
 高い ← 必要性 → 低い



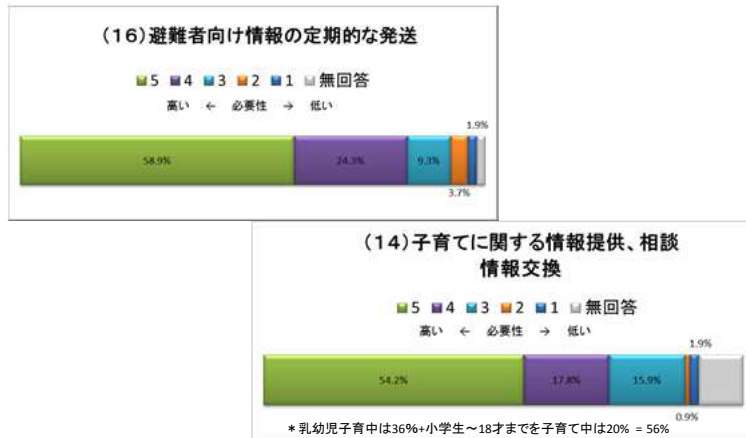
71

72

## 自由記述より: 情報公開について

- 福島に関するニュースを正確に流してほしいと思います。(30代女性)
- 避難元の放射線の正確な情報 今後の見通し 1年後に帰っても大丈夫なのか一番心配です(80代女性)
- 私の住んでいる所は、避難解除地域です。でも、放射線量は、今だに高いです。その不安!! 本当の事が、報道されない。日本国全体が忘れようとしている。(60歳代、男性)

## 必要性・要望の高い支援: 情報提供



73

## 自由記述より: 情報提供・お礼

- いつも情報を届けて下さりどうもありがとうございます。栃木、福島の両情報があるので助かります。福島 of 被災者をいつまでも気に掛けて下さる方がいるのは心強くありがたいことです。(40代女性)
- 避難地区の情報は現在、現住所のあった役所に手続きしたので定期的に同じように届けられるようになり、現住所の役所にもお世話になり、大変ありがたく思っています。(50代女性)
- 栃木県民の皆様のご親切を頂き、感謝しております。(60代男性)
- ○戸別支援を受け助けて頂きまして、有賀度うございました。  
※応援会の方々御苦勞様です。(70代女性)

74

## &lt;連絡先&gt;

- 福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト(FSP)
- 宇都宮大学国際学部附属 多文化公共圏センター(CMPS) 〒321-8505  
栃木県宇都宮市峰町350 TEL&FAX: 028-649-5228
- HP: <http://cmps.utsunomiya-u.ac.jp/fsp/proj1.html>
- ブログ: <http://sicpmf.blog55.fc2.com/>